

認知症とともに生きる

～本人の声からはじまるまちづくり～

1. オンライン講演「認知症になってもだいじょうぶなわがまちを



講師：藤田 和子氏 ともにつくっていこう」
(一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ代表理事)

2. パネルディスカッション

パネリスト：遠藤浩市氏 ・ 長田米作氏 ・ 荻野憲太郎氏



令和6年

日時

12月10日(火) 13:30~16:00 (受付 13:00~13:30)

※令和7年1月頃～センターホームページにてオンデマンド配信を予定しております。

会場

ルネこだいら 中ホール
(東京都小平市美園町1-8-5)

西武新宿線 小平駅南口 徒歩3分

対象

西東京市、小平市、東久留米市、
東村山市、清瀬市内 在住・在勤の皆様

定員

約200名 (参加費無料)

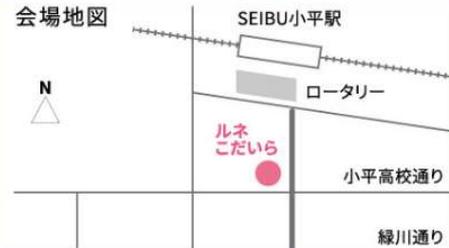
FAX：裏面応募用紙にてお申込みください

電話：認知症疾患医療センターまでお電話ください

メール：裏面アドレスまでご連絡ください

Web：QRコードを読み取り、お申込みください。

会場地図



★ご注意ください★

- ①感染症の流行状況等によって、内容が変更となる場合もございます。
- ②体調不良の場合、参加はお控えください。
- ③施設内はマスクの着用をお願いいたします。
- ④会場へは公共交通機関、徒歩、自転車等でのお越しをお願いいたします。

主催：北多摩北部保健医療圏 薫風会山田病院 地域拠点型認知症疾患医療センター

共催：国立精神・神経医療研究センター病院 認知症疾患医療センター

多摩あおば病院 認知症疾患医療センター

複十字病院 認知症疾患医療センター

前田病院 認知症疾患医療センター

東京都多摩若年性認知症総合支援センター

後援：小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市

小平市医師会、東村山市医師会、清瀬市医師会、

東久留米市医師会、西東京市医師会

北多摩北部保健医療圏 薫風会山田病院
地域拠点型 認知症疾患医療センター

TEL:042-461-0622
月～金(9:00～17:00)

薫風会山田病院 認知症疾患医療センター宛

第13回 北多摩北部保健医療圏
地域拠点型認知症疾患医療センター研修会
「認知症とともに生きる」
～本人の声からはじまるまちづくり～

★FAXでお申し込みの方★ ※番号のお間違いにご注意ください！

以下にご記入の上、042-461-0626 までお送りください。

(フリガナ) 氏名：	TEL:
(フリガナ) 氏名：	TEL:
(フリガナ) 氏名：	TEL:

★メールでのお申し込みの方★ ※メールアドレスのお間違いにご注意ください！

「center@yamada-hosp.or.jp」まで

①お名前 ②フリガナ ③ご連絡先 をお送りください。

講師・パネリスト紹介

藤田 和子 氏

1961年生まれ。看護師として15年勤務、認知症の義母を9年介護。
45歳でアルツハイマー病と診断されたのち、本人発信を始めた。
2014年 当事者組織である「日本認知症本人ワーキンググループ」を
仲間とともに立ち上げ、
地元でも「おれんじドアとっとり」の本人相談員として活動中。

2020年1月～ 厚生労働省から認知症本人大使「希望大使」に任命
2021年6月～ 鳥取市から認知症本人大使「希望大使」に任命
2023年9～12月「認知症と向き合う『幸齢社会』実現会議」構成員
2024年3月～ 「認知症施策推進関係者会議」委員
著書に「認知症になってもだいじょうぶ！
そんな社会を創っていきましょう」（徳間書店）

遠藤 浩市 氏 1953年生まれ。

映像機器の設計・開発・施工の仕事を経たのち、
撮影スタジオ等で設備管理を担当する
電気主任技術者として67歳まで働く。
退職直後、アルツハイマー型認知症と診断され
現在は清瀬市のオレンジハウスで交流活動を行う。

長田 米作 氏 1933年生まれ。

20歳頃、婦人服の仕立てをしていた妻と結婚、
独立。忙しい仕事の合間に家族や仲間と
趣味である登山やゴルフ、スキーを楽しんだ。
70歳頃、認知症の診断を受けて退職。
現在は練馬区の本人ミーティングの中核を担う傍ら
「とうきょう認知症希望大使」としても活動中。

荻野 憲太郎 氏 1970年生まれ。1989年3月(株)イトーヨーカ堂入社

「イトーヨーカドーでの職歴」
・滝山店（東久留米市）入社、東京・千葉・埼玉の店舗を経て、2007年青森店にて副店長になり、現在に至る。
「イトーヨーカドー八王子店について」
・高尾山を眺める緑豊かな地域に出店して25年。お客様に買い物しやすい場所を提供できるように
地域のみなさん（包括C、BLGさん）と協働している。